



令和3年度ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテストを開催します！

1次コンテストを通過し、地域の絆と専門家のアドバイスで練り上げられた**4件**の提案が施設整備の実現に向けて**2次コンテスト**に臨みます。(提案概要は裏面に掲載)

2次コンテストで選考された提案は、来年度に整備助成を受け、施設整備を行うことができます。まちづくりへの強い思いを持った提案グループによる「プレゼンテーション」、審査員との白熱した「質疑応答」、そして緊張感あふれる「結果発表」をぜひご覧ください。

ヨコハマ市民まち普請事業とは…

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。2段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

2次コンテストの概要について

- 1 開催日時 令和4年2月6日(日)
10時00分～16時00分 ~~10時00分～17時30分(予定)~~

- 2 会場 横浜市役所アトリウム

※新型コロナウイルス感染症の状況によって会場での開催方法は変更となる場合があります。
(最新情報はヨコハマ市民まち普請事業のイベント情報ページでお知らせします。)

- 3 内容 ①グループによる提案発表
②審査員*による情報収集タイム
③質疑応答
④審査員による投票
⑤結果発表

※審査員は横浜市地域まちづくり推進条例に基づき設置される「ヨコハマ市民まち普請事業部会」の委員8名(地域まちづくりの専門的知識を有する者6名、市民公募により選出された2名)

令和2年度2次コンテストの様子



<提案発表>



<情報収集タイム>



<質疑応答>

YouTubeによるLIVE配信！

コンテストの様子をYouTubeでLIVE配信します。皆様の身近なまちづくりのご参考に！



←視聴はこちらから
令和4年2月6日(日)
10時00分より配信予定！

裏面あり

どなたでもご自由に
入場いただけます。

(密を避ける
する場合)

会場への一般客の入場を
不可とします。

※マスク着用、ソーシャルディスタンス
などの感染症予防対策をお願いします

取材をご希望の方は2月4日(金)12時までに
裏面のお問合せ先へご連絡ください。

取材の際は
直接会場へお越しください

2次コンテスト整備提案一覧（発表順）

以下の提案の中から整備対象を選考します。

提案グループ名（区名）	イメージ図
<p>整備提案名・整備提案の概要</p> <p>モヤキラCAFE実行委員会（都筑区）</p> <p><u>地域コミュニティのごきげんな居場所づくり</u> センター北駅近くの地域密着型のコミュニティビジネス拠点の一角にキッチンを整備。地域の方がふらっと寄れるコミュニティカフェ、女性支援や地域の活動者の交流の場へ。</p>	
<p>まちとも 霧が丘（緑区）</p> <p><u>地域で繋がり、楽しむ！多世代・多文化交流の新拠点！</u> 団地の空テナントを活用し、多世代・多文化の交流拠点を整備。コミュニティカフェ、日本語・英語教室、小学生の立ち寄り学習を実施、マルシェ等のイベントを通じて助け合いのネットワークをつくります。</p>	
<p>食卓八景—つながりのリビングをつくる会（金沢区）</p> <p><u>八景市場ANNEX—自らづくり，つながる場所</u> 空き家を地域の人たちと改修したシェアハウスの共用部をまちに開放。縁側やお庭を整備し、誰もが気軽に立寄り、他者とつながることのできる地域の多世代交流拠点へ。</p>	
<p>NPO法人史季の郷（鶴見区）</p> <p><u>新たな事業展開と柔軟な地域交流拠点の整備</u> 歴史資料館・交流室を拡張し、学校地域コーディネーターと連携した「昔の道具とくらし体験」等、地域の歴史を活用した住民主体の交流活動をサポートする拠点へ。</p>	

各グループの提案書は、2次コンテスト当日の9時からヨコハマ市民まち普請事業のWebページ（イベント情報ページ）に掲載します。

過去のコンテストや整備を行ったグループによる整備成果報告会の様子も掲載していますので、是非ご覧ください。

まち普請 イベント情報

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 萩原 慶一 Tel 045-671-2665